



OASE Operation Autonomy
Support Engine
Base 【座学】

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

目次

1. はじめに

- 1.1 Base【座学】について
- 1.2 OASE利用設定フロー
- 1.3 OASE作業フロー

2. OASE事前設定フローにおける各画面の説明

- 2.1 権限の設定 [アクセス権限]
- 2.2 権限の設定 [登録情報]
- 2.3 アクション先の設定
- 2.4 ディシジョンテーブルの作成
- 2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル]

3. OASE運用フローにおける各画面の説明

- 3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成
- 3.2 ルール登録
- 3.3 ルール判定

1. はじめに

1.1 Base【座学】について(1/3)

■ まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE) を利用する上で、基本的な機能の理解を支援するための資料です。
- 実践形式でさらなる知識を深めたい場合は、具体的な手順に沿った資料として < [Exastro OASE Base【実習】](#) > もありますので、そちらをご参照ください。
- 包括的な内容としては、Exastro OASE の公式マニュアル集である < [OASE docs](#) > をご参照ください。



1.1 Base【座学】について(2/3)

Baseでは以下の範囲を想定

- 「OASE」と「ITAドライバ」の連携

The diagram, titled "Exastro OASE Learn MAP", illustrates the integration components for Exastro OASE. It is divided into three main sections:

- 監視ソフトウェアドライバ ラインナップ (Monitoring Software Driver Lineup):** This section on the left lists three adapters: Zabbix アダプタ (with Zabbix連携編), Prometheus アダプタ (with Prometheus連携編), and CloudWatch アダプタ (with CloudWatch連携編).
- Exastro OASE Operation Autonomy Support Engine:** The central section features the Exastro OASE logo and includes a "クイックスタート*" (Quick Start) button and a highlighted "Exastro OASE Base*" button.
- 連携ソフトウェアドライバ ラインナップ (Integration Software Driver Lineup):** This section on the right lists two drivers: メールドライバ (Email Driver) and ITA ドライバ (ITA Driver). The ITA Driver is highlighted with a red border.

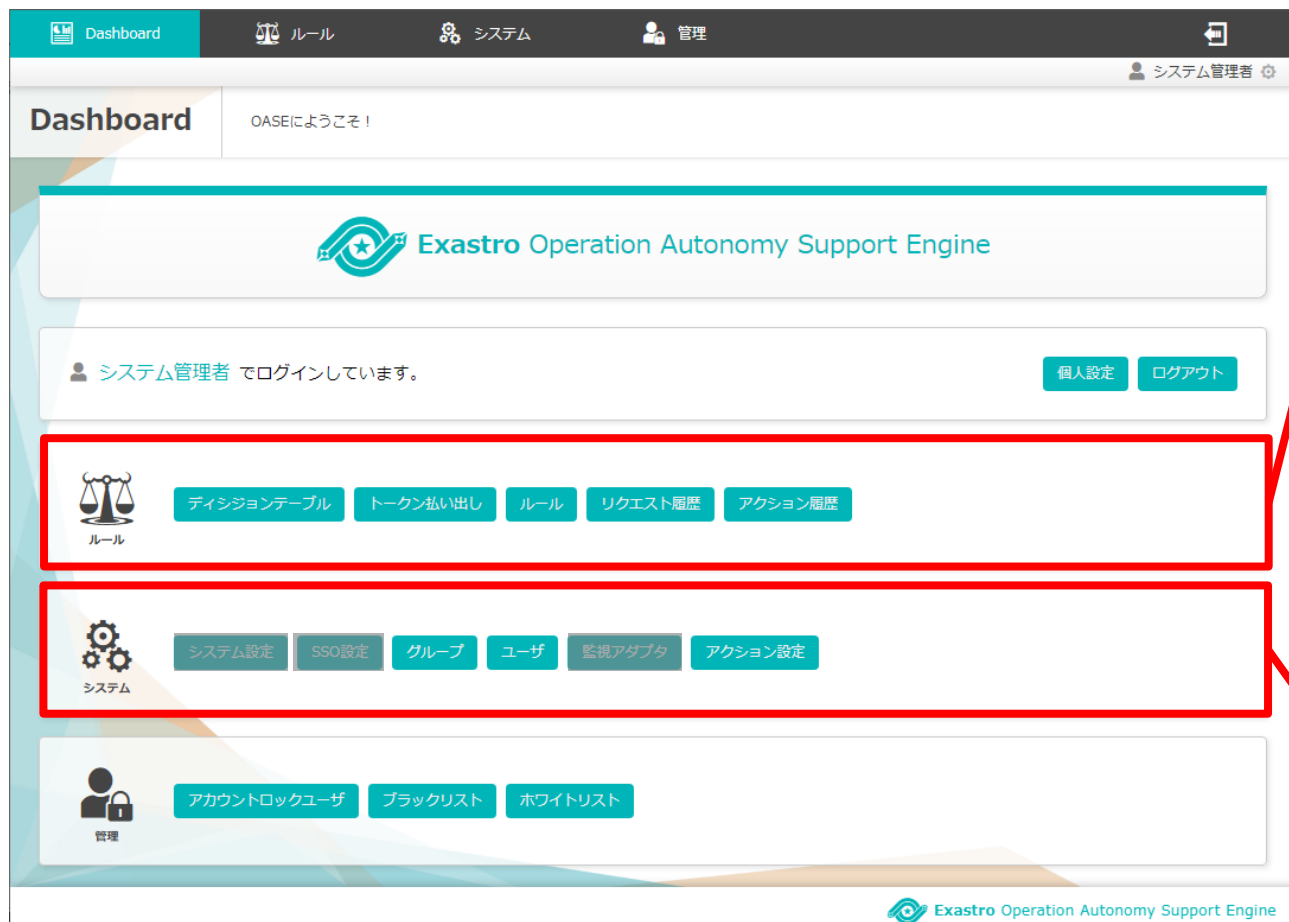
A note at the bottom of the diagram states: ※クイックスタート、Exastro OASE Baseは、アダプタ連携は含んでおりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

1.1 Base【座学】について(2/3)

BaseではOASEの以下機能（画面）を用いる

● Dashboard画面



カテゴリ：ルール

画面名称
ディシジョンテーブル
トークン払い出し
ルール
リクエスト履歴
アクション履歴

カテゴリ：システム

画面名称
グループ
ユーザ
アクション設定

1.2 OASE事前設定フロー

初回利用時の設定など基本的に頻度が少ない作業

事前設定フロー	画面	カテゴリ	
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ	システム	
	ユーザ		
▼			
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し	システム	
	アクション設定		
▼			
2.3 アクション先の設定	アクション設定		
▼			
2.4 ディシジョンテーブルの作成	ディシジョンテーブル	ルール	
▼			
2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル]	ディシジョンテーブル		

1.3 OASE運用フロー

運用業務において頻繁に発生する作業

運用フロー	画面	カテゴリ
3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成	ディシジョンテーブル	ルール
▼		
3.2 ルール登録	ルール	
▼		
3.3 ルール判定	リクエスト履歴 アクション履歴	

2. OASE事前設定フローにおける各画面の説明

2.1 権限の設定 [アクセス権限] (1/5)

以下、赤枠箇所のフローについて説明

事前設定フロー	画面	カテゴリ
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ ユーザ	システム
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し アクション設定	
2.3 アクション先の設定	アクション設定	
2.4 ディシジョンテーブルの作成	ディシジョンテーブル	ルール
2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル]	ディシジョンテーブル	

2.1 権限の設定 [アクセス権限] (2/5)

画面へのアクセス権限をグループに対して割り当てる

- アクセス権限は「グループ」画面で設定可能
- 以下画面へのアクセス権限を設定可能
 - ディシジョンテーブル
 - トークン払い出し
 - システム設定
 - SSO設定
 - グループ
 - ユーザ
 - アクション設定
- 以下の権限から選択
 - 権限無し：画面表示しない
 - 参照のみ：画面を表示するが更新不可
 - 更新可能：画面表示および更新可能

カテゴリ	画面	機能	権限なし	参照のみ	更新可能
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	トークン払い出し	————	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
システム	システム設定	————	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SSO設定	————	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	グループ	————	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ユーザ	————	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アクション設定	————	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

2.1 権限の設定 [アクセス権限] (3/5)

例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(1/3)

- ① 「システム管理者」でログインし「group_A」を作成
- ② 「group_A」にアクセス権限を設定

The screenshot shows the 'グループ' (Groups) management page. A red box labeled '1' highlights the 'group_A' entry in the list. An 'アクセス権限' (Access Permissions) dialog box is open, showing the configuration for 'group_A'. The dialog has a table with columns for 'カテゴリ' (Category), '画面' (Screen), '機能' (Function), and three permission checkboxes: '権限なし' (No permission), '参照のみ' (View only), and '更新可能' (Updateable).

カテゴリ	画面	機能	権限なし	参照のみ	更新可能
ルール	ディビジョンテーブル	新規追加	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	トークン払い出し		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
システム	システム設定		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SSO設定		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	グループ		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ユーザ		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アクション設定		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 group_Aのアクセス権限

画面	権限
ディビジョンテーブル	更新可能
トークン払い出し	更新可能
システム設定	権限なし
SSO設定	権限なし
グループ	参照のみ
ユーザ	参照のみ
アクション設定	参照のみ

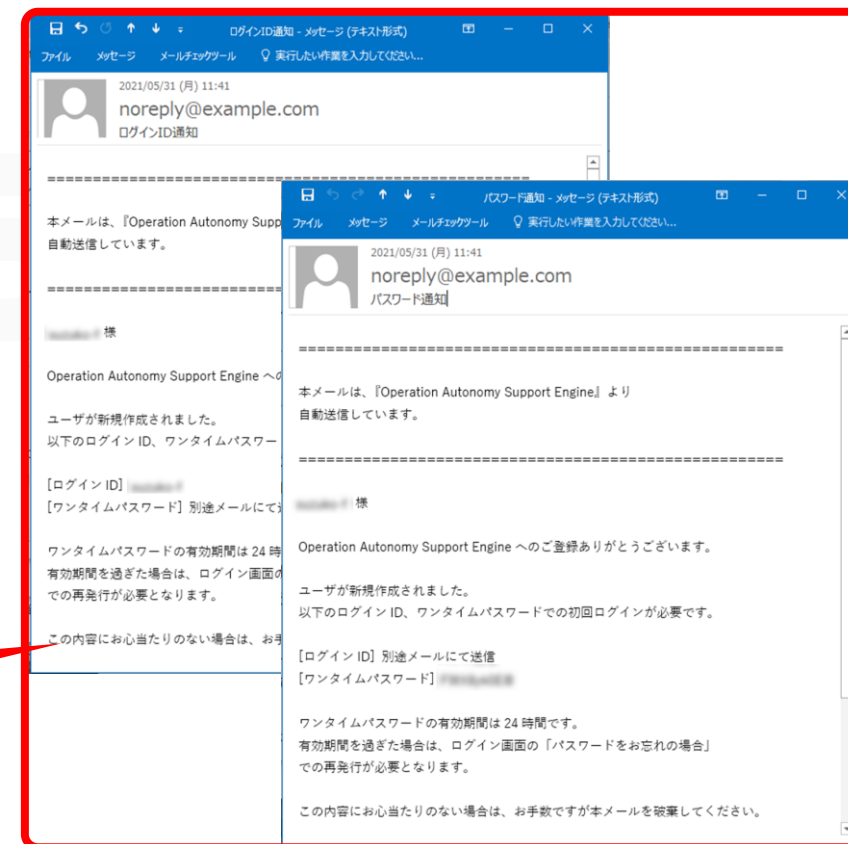
2.1 権限の設定 [アクセス権限] (4/5)

例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(2/3)

- ③ 「user_A」を作成し「group_A」配属とする
- ④ 「user_A」のメールアドレス宛に届いた「ログインID通知」と「パスワード通知」を用いてOASEにログインする

ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者
システム管理者	administrator	sample@xxx.bbb.ccc	システム管理者	システム管理者
user_A	userA	a0001@example.com	group_A	システム管理者
user_B	userB	b001@example.com	group_B	システム管理者

登録したメールアドレスにメールが送信される。
ユーザ登録時には、受信可能なメールアドレスを登録する。



2.1 権限の設定 [アクセス権限] (5/5)

例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(3/3)

- 「更新可能」、「参照のみ」、「権限なし」の各権限ごとの画面表示は以下のようになる

The image displays three screenshots from the Exastro management console illustrating different permission levels:

- Top Left:** A table showing the configuration for group_A. The 'アクセス権限' (Access Permissions) column is highlighted with red boxes, showing: '更新可能' (Updateable) for 'ディシジョンテーブル' and 'トークン払い出し'; '権限なし' (No Permission) for 'システム設定' and 'SSO設定'; and '参照のみ' (View Only) for 'グループ', 'ユーザ', and 'アクション設定'.
- Top Right:** A screenshot of the 'トークン払い出し' (Token Release) page. A '新規トークン払い出し' (New Token Release) button is highlighted with a red box and labeled '更新可能' (Updateable). A callout box above it says '「user_A」でログイン' (Login with 'user_A').
- Bottom Left:** A screenshot of the 'ユーザ' (Users) list. The '参照のみ (更新ボタン無し)' (View Only (No Update Button)) permission is highlighted with a red box. The table below shows the user list:

ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者	最終更新日時
システム管理者	administrator	sample@xxx.bbb.ccc	システム管理者	システム管理者	2021年5月21日 11:52
user_A	userA	a0001@example.com	group_A	システム管理者	2021年5月31日 11:40
user_B	userB	b001@example.com	group_B	システム管理者	2021年5月31日 11:40
user_C	userC	c001@example.com	group_C	システム管理者	2021年5月31日 11:40
user_D	userD	d001@example.com	group_D	システム管理者	2021年5月31日 11:40

- Bottom Right:** A screenshot of the 'システム' (System) settings page. A red dashed box highlights the 'グループ' (Group), 'ユーザ' (User), and 'アクション設定' (Action Settings) settings, with a callout box stating: '「システム設定」と「SSO設定」の表示がされない' (System settings and SSO settings are not displayed).

2.2 権限の設定 [登録情報] (1/4)

以下、赤枠箇所のフローについて説明

事前設定フロー	画面	カテゴリ
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ ユーザ	システム
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し アクション設定	
2.3 アクション先の設定	アクション設定	
2.4 ディジジョンテーブルの作成	ディジジョンテーブル	ルール
2.5 権限の設定 [ディジジョンテーブル]	ディジジョンテーブル	

2.2 権限の設定 [登録情報] (2/4)

「トークン払い出し」画面について

- 監視アプリケーションから受信したメッセージをルールマッチングさせるために認証が必要であるため、予めOASEの「トークン払い出し」画面からトークンを発行する



- 後述する「ルール」画面上からのテストリクエスト時にもトークンが必要
- 払い出したトークンの使用例は以下を参照
[< RestAPI機能 利用マニュアル 1 イベントリクエスト >](#)

2.2 権限の設定 [登録情報] (3/4)

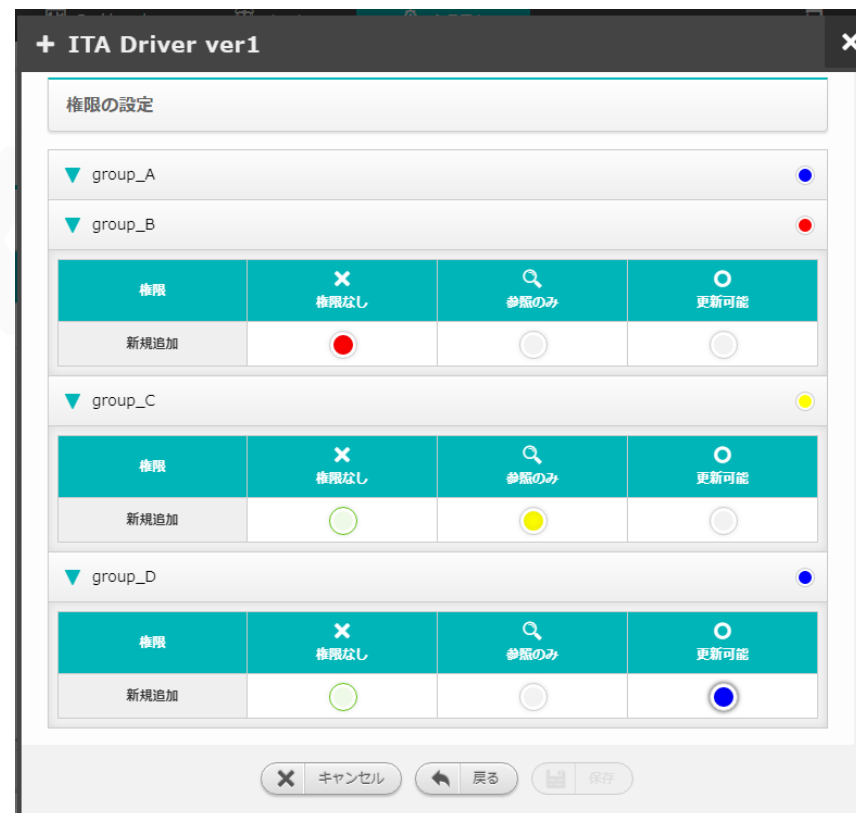
登録情報へのアクセス権限をグループに対して割り当てる

- OASEの各画面に対して「更新可能」のアクセス権限が設定されている場合、情報を登録・更新・削除することが可能
- 登録情報に対する権限を「アクション設定」、「トークン払い出し」の各画面で設定可能

● 以下の権限から選択

- 権限無し：登録情報を表示しない
- 参照のみ：登録情報を表示するが更新不可
- 更新可能：登録情報を表示および更新可能

- 1件も表示できる情報が存在しない場合、「403 Forbidden」画面が表示される



2.2 権限の設定 [登録情報] (4/4)

例 「group_A」は「権限あり」、その他グループは「権限なし」でトークンを払い出し

- 「group_A」に所属するユーザ「user_A」からのみトークンを表示・操作することが可能

「group_A」 「group_B」
「group_C」 「group_D」
に所属するユーザでトークン払い出し

グループ名	権限なし	権限あり
group_A	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
group_B	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
group_C	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
group_D	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

「group_A」に所属するユーザでログイン

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	token_group_A	2021年 06月 01日 14:59			2021年 06月 01日 14:59

参照および更新可能

「group_C」に所属するユーザでログイン

403 Forbidden

このページを表示する権限がありません。

参照権限なし

2.3 アクション先の設定 (1/4)

以下、赤枠箇所のフローについて説明

事前設定フロー	画面	カテゴリ
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ ユーザ	システム
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し アクション設定	
2.3 アクション先の設定	アクション設定	
2.4 ディジジョンテーブルの作成	ディジジョンテーブル	ルール
2.5 権限の設定 [ディジジョンテーブル]	ディジジョンテーブル	

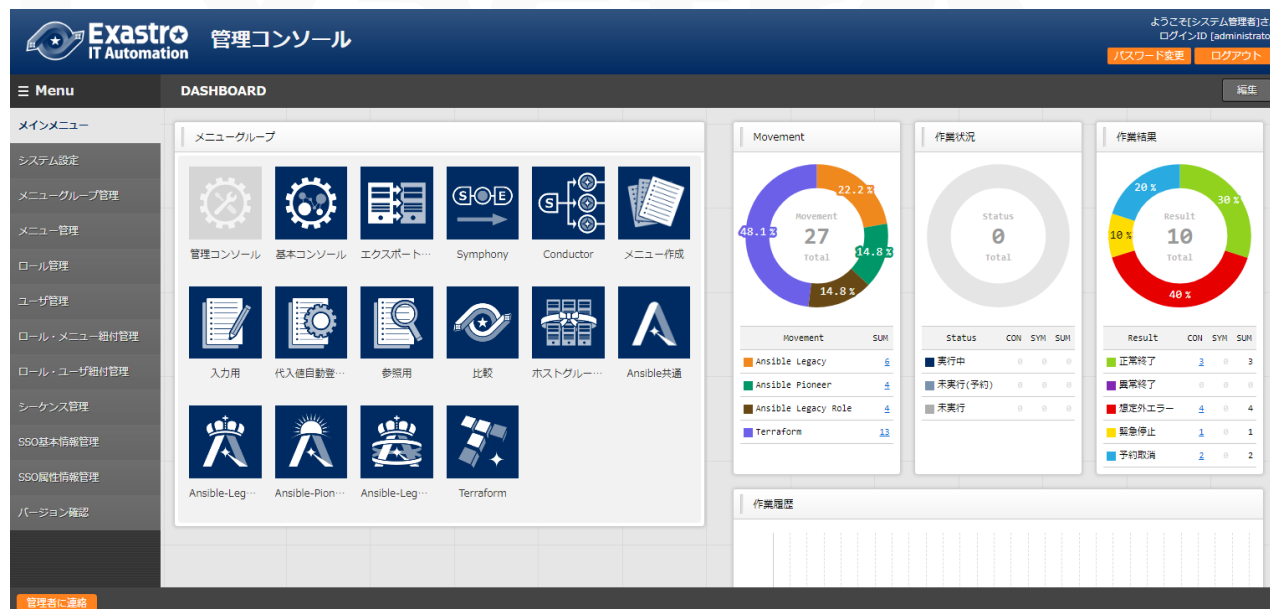
2.3 アクション先の設定 (2/4)

連携先となるITAを確認する

- 連携ソフトウェアの対象に「ITAドライバ」を使用するため、連携先となるITAが存在していることを確認する

- 連携できるITAがない場合はインストールを実施、ITAにログインできることを確認する
- ITAのインストールからログインまでは以下を参照

<[IT Automationオンラインインストール](#)>



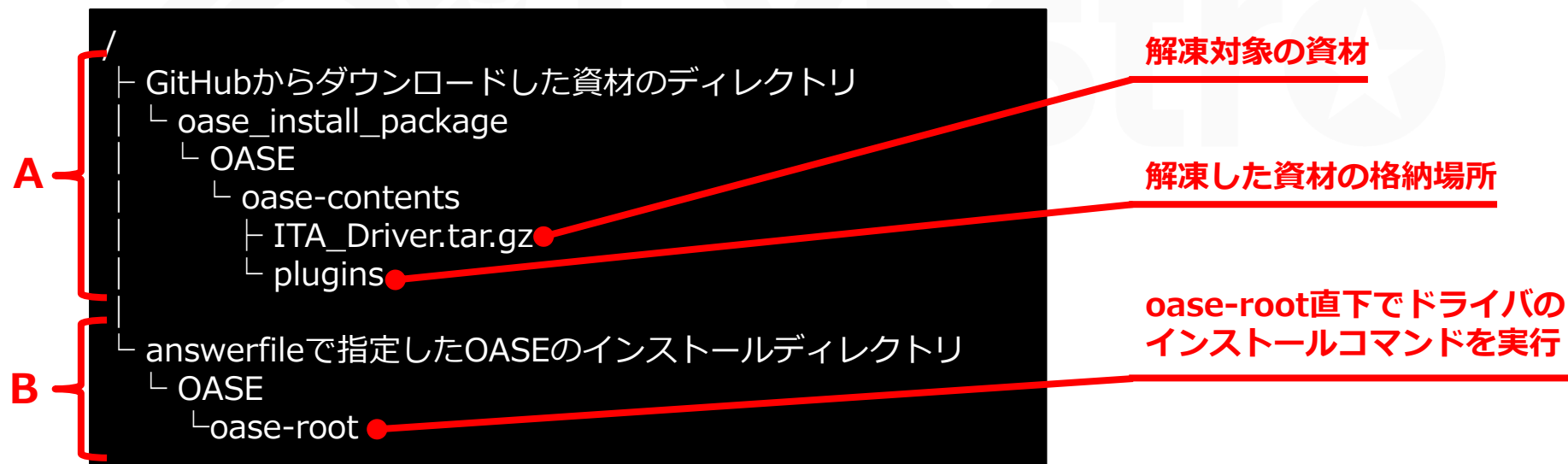
2.3 アクション先の設定 (3/4)

連携ソフトウェアドライバとして「ITAドライバ」を導入する

- OASEへITAドライバをインストールする

- A) GitHubからダウンロードしたインストーラーの「oase-contents」配下にある資材を解凍する
- B) 解凍した資材を用いて、インストールしたOASE側でドライバのインストールコマンドを実行する

※AとBの階層が異なることに留意



- ドライバインストールについては<[環境構築マニュアル-ドライバインストール編-](#)>を参照

2.3 アクション先の設定 (4/4)

「ITAドライバ」と連携するための情報をOASEに登録する

- アクション先としてITAドライバの追加を実行する

- OASEの「アクション設定」画面で設定する
- 連携したいITAの情報を登録する

例) ITAのバージョン、ホスト名/IPアドレス、ポート、ログインするユーザ名とパスワードなど

※設定の保存時には接続可能かの簡易チェックが行われる

OASEの「アクション設定」画面

The screenshot shows the 'ITA Driver ver1' configuration window. The fields are as follows:

項目名	設定値
名前	exastro-ita
バージョン	1.7.0
プロトコル	http
ホスト/IP	xxx.xxx.xxx.xxx
ポート	8
ユーザ名	administrator
パスワード	*****

項目名	設定値
名前	ITAの環境名など
バージョン	ITAのバージョンを選択
プロトコル	ITAのAPIにアクセスのためのプロトコルを選択 (http or https)
ホスト/IP	ITAのホスト名 or IPアドレスを入力
ポート	ITAのAPI接続に使用するポート番号を入力
ユーザ名	ITAのAPI利用時のユーザ名を入力
パスワード	上記ユーザのパスワードを入力

2.4 ディジジョンテーブルの作成 (1/6)

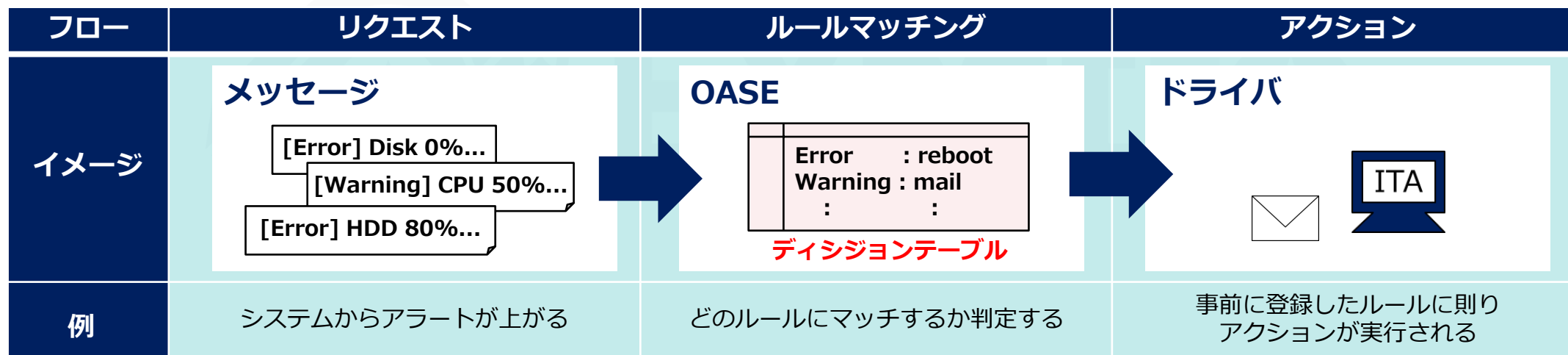
以下、赤枠箇所のフローについて説明

事前設定フロー	画面	カテゴリ
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ ユーザ	システム
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し アクション設定	
2.3 アクション先の設定	アクション設定	
2.4 ディジジョンテーブルの作成	ディジジョンテーブル	ルール
2.5 権限の設定 [ディジジョンテーブル]	ディジジョンテーブル	

2.4 ディジジョンテーブルの作成 (2/6)

ディジジョンテーブルについて

- OASEはディジジョンテーブルを内包している
 - ディジジョンテーブル：ルールリスト
 - ルール：ディジジョンテーブルの1行ごとに定義したもの
 - ルールエンジン：事前に登録されたルールに則り判断を行うもの



- 以下はルールの例であり、ディジジョンテーブルでこれらを定義することができる
 - アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージを受け取った場合、アクションAを実行
 - アラートレベル「Warning」、かつ、対象「CPU」を含むメッセージを受け取った場合、アクションBを実行

2.4 ディジジョンテーブルの作成 (3/6)

「ディジジョンテーブル」画面で操作する (1/3)

- ディジジョンテーブルを管理するために各情報の登録が必要
- 「基本情報・権限」タブ
 - ディジジョンテーブル名
 - OASEで管理するうえでの名称を登録する
 - ディジジョンテーブルは各画面で登場するため、任意で名称をつけ管理把握できるようにする

カテゴリ	ルール				
画面	ディジジョンテーブル	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴
		ステージング	プロダクション		
ディジジョン テーブルファイル	Name_dtAAA				
	Name_dtBBB				

- 権限の設定
 - OASEで管理するうえで、グループごとに権限を設定することが可能
(詳細は後述の「[2.5 権限の設定 \[ディジジョンテーブル\]](#)」を参照)

2.4 ディジジョンテーブルの作成 (4/6)

「ディジジョンテーブル」画面で操作する (2/3)

- 「条件式」タブ

- 条件名、条件式を記述してルールを作成する

- 例) アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージの場合、アクションAを実行

この部分をルールにおける「条件」としたい

ディジジョンテーブル画面の
「条件式」タブで設定する

ルールマッチ後のアクションについては、後述する「ディジジョンテーブルファイル」で記述していく

移動	条件名	条件式	削除
	アラートレベル	含む	
	対象	含む	X

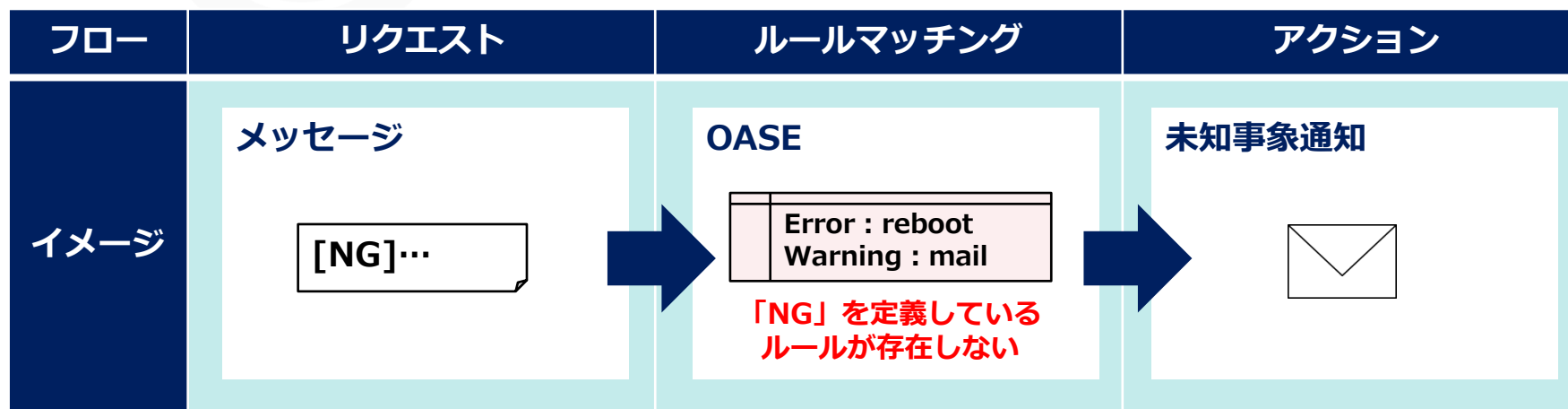
条件に対して投入されるメッセージ（「Error」や「HDD」）については、後述する「ディジジョンテーブルファイル」で具体的なルールを記述していく

- 作成したルールが有効か否かについては、後述するテストリクエストで確認可能

2.4 ディジジョンテーブルの作成 (5/6)

「ディジジョンテーブル」画面で操作する (3/3)

- 「未知事象通知」タブ
 - 「メールで通知する」を選択することで、未知事象が発生した場合メールで通知するよう設定することが可能
- 「既知事象」と「未知事象」
 - 既知事象：ルールとして定義できており、アクションも定義できている事象のこと
 - 未知事象：既知事象として定義できていない事象のこと
- 例 「メールで通知する」を設定した状態で、ルールとして定義していない「NG」というメッセージを受け取った場合



2.4 ディジジョンテーブルの作成 (6/6)

注意事項

- ディジジョンテーブルの最大作成可能数は環境によって変動する
- 4件を目安とし、必要に応じて削除する
- 作成可能数を超えた場合、エラーが発生する可能性があることに留意
- エラーが発生した場合は以下を参照する
< [環境構築マニュアル -基本編- 4. 注意事項](#) >



2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (1/12)

以下、赤枠箇所のフローについて説明

事前設定フロー	画面	カテゴリ
2.1 権限の設定 [アクセス権限]	グループ ユーザ	システム
2.2 権限の設定 [登録情報]	トークン払い出し アクション設定	
2.3 アクション先の設定	アクション設定	
2.4 ディシジョンテーブルの作成	ディシジョンテーブル	ルール
2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル]	ディシジョンテーブル	

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (2/12)

ディシジョンテーブルに対する権限を設定することが可能

- ディシジョンテーブルに対する権限は「ディシジョンテーブル」画面で設定可能
- 以下の権限から選択
 - 権限無し：対象のディシジョンテーブルを表示しない
 - 参照のみ：対象のディシジョンテーブルを表示するが操作が限定される
 - 更新可能：対象のディシジョンテーブルの表示、編集、処理、実行が可能



2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (3/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (1/10)

- ① ディシジョンテーブルの権限ではない箇所については条件をそろえるため、システム管理者でログインし「グループ」画面にて「group_A」「group_B」「group_C」「group_D」を作成、各グループのアクセス権限をすべて「更新可能」に設定

「システム管理者」でログインして設定

権限	グループ名	概要	最終更新者	最終更新日時
	システム管理者	システム管理用の全権限を持つ	システム管理者	2019年7月1日0:00
	SSOデフォルトグループ	SSOユーザーの初回ログイン時に自動割り当てされるグループ	システム管理者	2019年7月1日0:00
	group_A		システム管理者	2021年6月3日11:54
	group_B		システム管理者	2021年6月3日11:56
	group_C		システム管理者	2021年6月3日12:17
	group_D		システム管理者	2021年6月3日12:17

カテゴリ	権限	権限	アクセス権限
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム	システム設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	SSO設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	グループ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ	ユーザ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	アクション設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能

カテゴリ	権限	権限	アクセス権限
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム	システム設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	SSO設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	グループ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ	ユーザ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	アクション設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能

カテゴリ	権限	権限	アクセス権限
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム	システム設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	SSO設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	グループ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ	ユーザ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	アクション設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能

カテゴリ	権限	権限	アクセス権限
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム	システム設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	SSO設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	グループ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ	ユーザ		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	アクション設定		<input checked="" type="radio"/> 更新可能

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (4/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (2/10)

- ② 「ユーザ」画面にてユーザ「user_A」「user_B」「user_C」「user_D」「master」を作成
- ③ 「user_A」は「group_A」に、「user_B」は「group_B」に、「user_C」は「group_C」に、「user_D」は「group_D」に、「master」は「group_A」「group_B」「group_C」「group_D」に所属するよう設定

ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者	
システム管理者	administrator	sample@xxx.bbb.ccc	システム管理者	システム管理者	2021年5月21日11:52
user_A	userA	a0001@example.com	group_A	システム管理者	2021年5月31日11:40
user_B	userB	b001@example.com	group_B	システム管理者	2021年5月31日11:40
user_C	userC	c001@example.com	group_C	システム管理者	2021年5月31日11:40
user_D	userD	d001@example.com	group_D	システム管理者	2021年5月31日11:40
master	master		group_A group_B group_C group_D	システム管理者	2021年6月3日17:19

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (5/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (3/10)

- ④ ユーザ「master」でログインし「ディシジョンテーブル」画面にて、ディシジョンテーブル「master_decision_table」を作成し各グループに対して以下の権限を設定



group_A

更新可能：ディシジョンテーブル、ルール（ステージング）
参照のみ：ルール（プロダクション）、リクエスト履歴
権限なし：アクション履歴、監視アダプタ

group_B

すべて「参照のみ」

group_C

すべて「権限なし」

group_D

すべて「更新可能」

作成したユーザ
「master」で
ログインして設定

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (6/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (4/10)

- ディシジョンテーブル「master_decision_table」への権限は以下の通り

画面 ユーザ	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
		ステージング	プロダクション			
① master	作成、複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロダクション適用可能	参照可	参照および操作可	参照可
② user_A	複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン無し、適用不可	参照可	参照不可	参照不可
③ user_B	複製、ダウンロード可能	アップロード不可、テストリクエスト可	適用ボタン無し、適用不可	参照可	参照可	参照不可
④ user_C	参照不可					
⑤ user_D	複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロダクション適用可	参照可	参照および操作可	参照可
⑥ システム管理者	参照不可					

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (7/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (5/10)

- ユーザ「master」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ディシジョンテーブル	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
			ステージング	プロダクション			
① master		作成、複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロダクション適用可能	参照可	参照および操作可	参照可

The screenshots illustrate the 'master' user's permissions across different components of the Exastro interface:

- Decision Table Details:** Shows the 'Permissions' section for 'master_decision_table' with a red box highlighting the '複製' (Copy), '削除' (Delete), '編集' (Edit), and 'DL' (Download) buttons.
- Rules Management:** Shows the 'Staging' and 'Production' rule tables. A red box highlights the 'アップロード' (Upload) button and the '適用' (Apply) button in the staging table.
- Request History:** Shows a table of request logs with a red box highlighting the '操作' (Action) column.
- Action History:** Shows a table of action logs with a red box highlighting the '操作' (Action) column.
- ZABBIX Adapter Configuration:** Shows the configuration page for 'ZABBIX Adapter ver1' with a red box highlighting the 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name) dropdown menu.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (8/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (6/10)

- ユーザ「user_A」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
			ステージング	プロダクション			
② user_A		複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン無し、適用不可	参照可	参照不可	参照不可

The screenshot displays the Exastro interface for user 'user_A'. The 'ディシジョンテーブル詳細' panel shows the '権限' (Permissions) section for 'group_A', with a red box highlighting the 'DL' (Download) button. The 'ステージング適用ルール' panel shows a table of rules with a red box around the 'アップロード' (Upload) button. The 'プロダクション適用ルール' panel shows a table of rules. The 'リクエスト履歴' and 'アクション履歴' panels show request and action logs. The '+ ZABBIX Adapter ver1' modal is open, showing configuration fields for '名前' (Name), 'プロトコル' (Protocol), 'ホスト/IP' (Host/IP), 'ポート' (Port), 'ユーザ名' (Username), and 'パスワード' (Password). A red box highlights the 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name) dropdown menu.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (9/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (7/10)

- ユーザ「user_B」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
			ステージング	プロダクション			
③ user_B		複製、ダウンロード可能	アップロード不可、テストリクエスト可	適用ボタン無し、適用不可	参照可	参照可	参照不可

The screenshot displays the Exastro interface for user 'user_B'. The 'ディシジョンテーブル詳細' panel shows the '権限' (Permissions) section for 'group_B', with the '複製' (Copy) button highlighted in red. The 'ルール' (Rules) panel shows a warning message: 'exastro-ease の内容 アップロードの権限がありません。ディシジョンテーブルから該当ルールを複製してご確認ください。 rule_type_name=master_decision_table (MOXA12031)'. The 'アップロード' (Upload) button is also highlighted in red. The 'リクエスト履歴' (Request History) and 'アクション履歴' (Action History) panels show various logs. The 'ZABBIX Adapter ver1' configuration panel shows the 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name) dropdown menu highlighted in red.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (10/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (8/10)

- ユーザ「user_C」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
	ディシジョンテーブル	ステージング	プロダクション			
④ user_C				参照不可		

The screenshot displays the user interface for user_C. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'ルール', and 'システム'. The main content area is divided into several sections:

- ディシジョンテーブル:** A message states "ディシジョンテーブルが存在しません。権限がある場合は、[新規追加]をクリックするとディシジョンテーブルを作成できます。" (Decision tables do not exist. If you have the permission, you can create a decision table by clicking [Add New]).
- ルール:** Two sections are visible: "ステージング適用ルール" and "プロダクション適用ルール", both showing "対象データがありません。" (No target data).
- リクエスト履歴:** A message states "リクエスト履歴はありません。" (No request history).
- アクション履歴:** A message states "アクション履歴はありません。" (No action history).
- 監視アダプタ:** A dialog box for "ZABBIX Adapter ver1" is open, showing fields for "名前" (test), "プロトコル" (http), "ホスト/IP" (xxx.xxx.xxx.xxx), "ポート" (80), "ユーザ名" (name), and "パスワード". A dropdown menu for "ディシジョンテーブル名" (Decision Table Name) is highlighted with a red box, and the "実合情報" (Actual Information) field contains the instruction "ディシジョンテーブル名を選択してください。" (Please select a decision table name).

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (11/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (9/10)

- ユーザ「user_D」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
			ステージング	プロダクション			
⑤	user_D	複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロダクション適用可	参照可	参照および操作可	参照可

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (12/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (10/10)

- ユーザ「システム管理者」における画面表示は以下の通り

ユーザ	画面	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
		ディシジョンテーブル	ステージング			
⑥	システム管理者	参照不可				

The screenshot displays the Exastro Operation Autonomy Support Engine interface for a system administrator user. The interface is divided into several sections:

- ディシジョンテーブル (Decision Table):** Shows a message: "ディシジョンテーブルが存在しません。権限がある場合は、[新規追加]をクリックするとディシジョンテーブルを作成できます。" (Decision table does not exist. If you have the authority, you can create a decision table by clicking [Add New]).
- ルール (Rules):** Divided into "ステージング適用ルール" (Staging Application Rules) and "プロダクション適用ルール" (Production Application Rules). Both sections show "対象データがありません。" (No target data).
- リクエスト履歴 (Request History):** Shows "リクエスト履歴はありません。" (No request history).
- アクション履歴 (Action History):** Shows "アクション履歴はありません。" (No action history).
- 監視アダプタ (Monitoring Adapter):** A modal window titled "+ ZABBIX Adapter ver1" is open, showing configuration fields for Name, Protocol, Host/IP, Port, Username, and Password. A dropdown menu for "ディシジョンテーブル名選択" (Decision Table Name Selection) is highlighted with a red box, with the instruction "ディシジョンテーブル名を選択してください。" (Please select a decision table name).

3. OASE運用フローにおける各画面の説明

3.1 ディジジョンテーブルファイルの作成 (1/2)

以下、赤枠箇所の操作について説明

運用フロー	画面	カテゴリ
3.1 ディジジョンテーブルファイルの作成	ディジジョンテーブル	ルール
3.2 ルール登録	ルール	ルール
3.3 ルール判定	リクエスト履歴 アクション履歴	ルール

3.1 ディジションテーブルファイルの作成 (2/2)

具体的なルールを記述する

- リクエストされたメッセージをどのように判断し処理するかルールを記述する

- ① コメント部 : ルールの説明など、任意の文章の記述が可能
- ② 条件部 : 「条件式」に合うよう具体的な条件を記述する
- ③ アクション部 : ルールマッチ後のアクションについて設定する
- ④ アクション条件部 : ルールの有効日および無効日について任意で設定する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
11												
12												
13												
14												

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
11												
12												
13												
14												

Diagram illustrating the structure of a Disposition Table File (DTF) with columns A through T and rows 1 through 14. The table is divided into four main sections:

- Section 1 (A-B):** Rule Description (ルール説明)
- Section 2 (C-D):** Alert Level (アラートレベル(含む)) and Target (対象(含む))
- Section 3 (E-F):** Rule Name (ルール名(必須))
- Section 4 (G-I):** Priority (優先順位)
- Section 5 (J-K):** Validity (有効日)
- Section 6 (L):** Invalidity (無効日)

Example data for rows 12 and 13:

Row	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
12		ITA実行	Error	HDD	rule_Error		X					
13		メール通知	Warning	HDD	rule_Warning		X					

上記のディジションテーブルファイルに["Error","HDD"]というメッセージがリクエストされた場合、条件部「アラートレベル: Error」「対象: HDD」に合致するため、ルール名「rule_Error」がマッチする

3.2 ルール登録 (1/4)

以下、赤枠箇所の操作について説明

運用フロー	画面	カテゴリ
3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成	ディシジョンテーブル	ルール
3.2 ルール登録	ルール	
3.3 ルール判定	リクエスト履歴 アクション履歴	

3.2 ルール登録 (2/4)

「ステージング」と「プロダクション」

- ルールを本番環境で運用する前に、ステージング環境でテストリクエストすることが可能
- ルールを検証し問題がなければ、プロダクション適用にステータスを遷移させ本番環境で使用する（検証段階ではアクションは実行されない）
- プロダクション適用ルールに該当するメッセージがOASEに投入された場合、ルールマッチングののちアクションが実行される

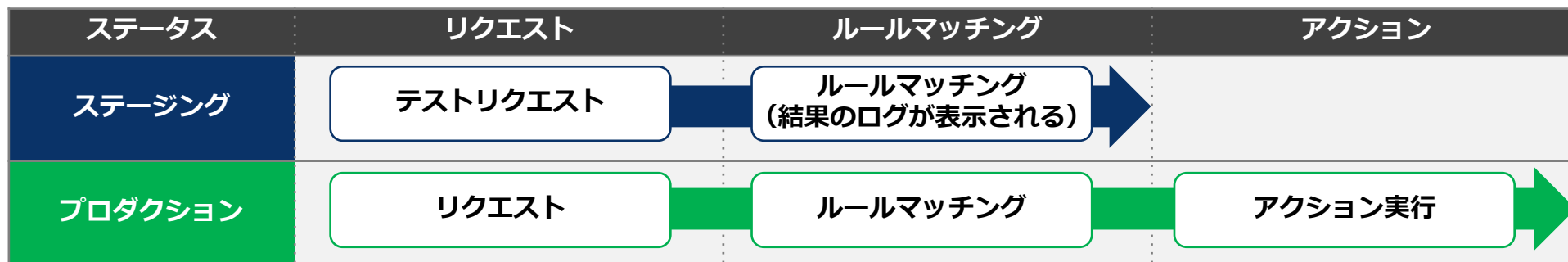
ステータス	フロー	詳細
ステージング	テスト環境 ディシジョンテーブル ファイル	検証結果をもって「プロダクション」にステータス遷移 <ul style="list-style-type: none">ディシジョンテーブルファイルをアップロードテストリクエストを実施し、ルールの検証が可能
プロダクション	ディシジョンテーブル ファイル 本番環境	ステージング環境でテスト済みのものが 「プロダクション適用ルール」として本番運用される <ul style="list-style-type: none">リクエストを受けルールマッチングが実行されるルールがマッチングした場合、ディシジョンテーブルファイルに登録されているアクション内容が実行される

3.2 ルール登録 (3/4)

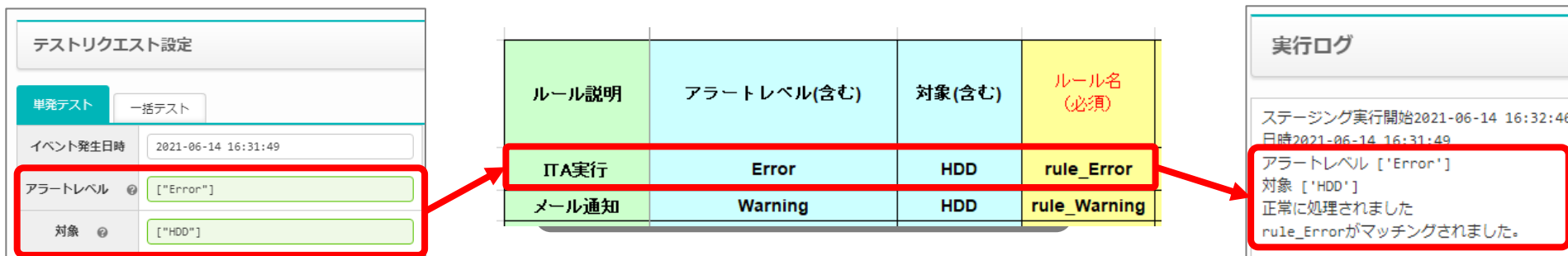
作成したルールを「ステージング」環境でテストする

● ステージング

- ステージング環境では、作成したルールに対しテストでリクエストを実行
- ルールがマッチングした場合でもテストリクエストではアクションは実行されない



- 例として、“アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージを受け取った場合、アクションAを実行”というルールをテストリクエストした場合



3.2 ルール登録 (4/4)

テストしたルールを本番利用する

● プロダクション

- ステージング環境でルールに問題ないことが確認できた場合、ステータスを「プロダクション」へ変更可能
- プロダクション環境でルールがマッチングした場合、ディシジョンテーブルファイルのアクション部に記述した内容が実行される（Baseでは「ITAドライバ」連携しアクションを実行する）

The screenshot displays the Exastro OASE console interface. It is divided into three main sections:

- 監視ソフトウェアドライバ ラインナップ** (Monitoring Software Driver Lineup): This section on the left lists three adapters: Zabbix アダプタ (with Zabbix 連携編), Prometheus アダプタ (with Prometheus 連携編), and CloudWatch アダプタ (with CloudWatch 連携編).
- Exastro OASE Operation Autonomy Support Engine**: The central section features a 'Quickstart' button and the 'Exastro OASE Base*' button, which is highlighted with a red border.
- 連携ソフトウェアドライバ ラインナップ** (Integration Software Driver Lineup): This section on the right lists two drivers: メールドライバ (Email Driver) and ITA ドライバ (ITA Driver), which is also highlighted with a red border.

※クイックスタート、Exastro OASE Baseは、アダプタ連携は含んでおりません。

3.3 ルール判定 (1/3)

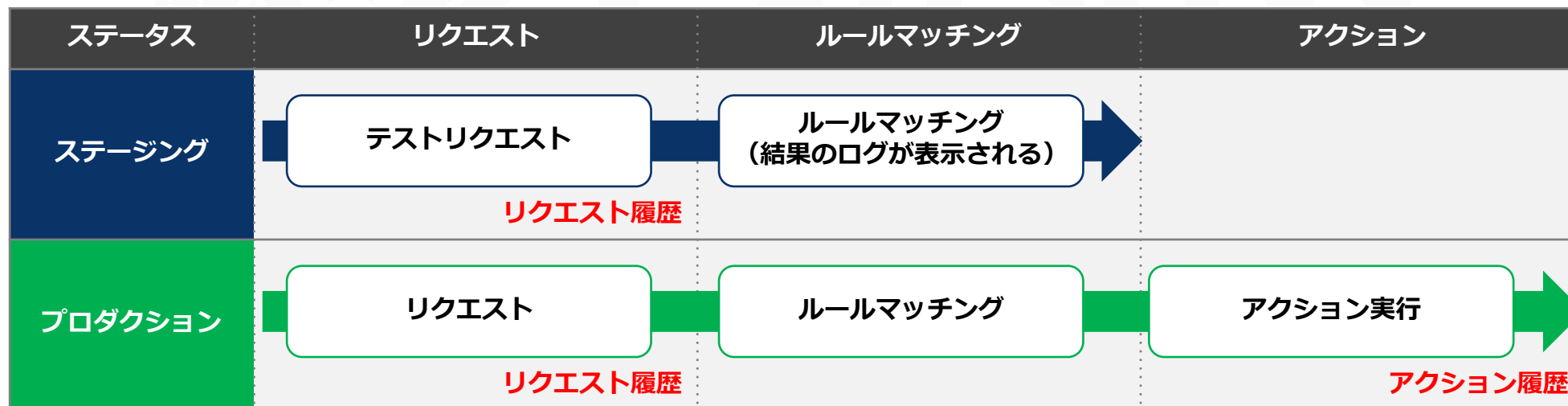
以下、赤枠箇所の操作について説明

運用フロー	画面	カテゴリ
3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成	ディシジョンテーブル	ルール
▼		
3.2 ルール登録	ルール	
▼		
3.3 ルール判定	リクエスト履歴 アクション履歴	

3.3 ルール判定 (2/3)

「リクエスト履歴」画面と「アクション履歴」画面

- 「ステージング」環境のルールに対しテストリクエストした場合
 - ・ 「リクエスト履歴」に履歴が追加される
- 「プロダクション適用」が済んでいるルールに対しリクエスト送信した場合
 - ・ 「リクエスト履歴」に履歴が追加される
 - ・ リクエスト送信がルールにマッチングした場合は、「アクション履歴」にアクション実行について履歴が追加される



3.3 ルール判定 (3/3)

「アクション履歴」画面

- 「状態」欄のアイコン
 - ・表示されるアイコンによって、アクションが実行されたのか、承認待ちなのか、エラーで停止しているのか等を確認可能
- 「操作」欄のボタン
 - ・「詳細表示」ボタンおよび「ダウンロード」ボタンからアクションの詳細を確認することが可能
 - ・「承認」ボタンでは保留中アクションの再開および停止を選択し実行が可能

※ディジジョンテーブルファイルの「アクション実行前パラメータ情報」を記述している場合、アクション実行を保留することが可能

D	E	F	G	H	I	J	K
ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報(必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可	アクション実行前パラメータ情報(必須) ※ダブルクォーテーションは使用不可 ※不要の場合は「X」を定義	リ ト ラ イ 間	リ ト ラ イ 回	抑 止 間 隔 (抑 止 回 数 (

(詳細はマニュアル <[利用手順マニュアル -アクション履歴編-](#)> を参照)



Exastro